

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あくせる			
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数)	32名
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月25日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの事を理解して特性に応じた専門的支援を提供している	専門的職員の配置や 個別課題の計画書作成 個別支援会議の定期的な実施	利用者及び保護者以外の関係機関(相談支援や学校など) ともコミュニケーションを図り、支援内容を より良いものにしていく
2	活動プログラムが固定されないように工夫している	複数の職員でレクリエーションの考案 活動後の振り返り改善を行なっている	保護者からニーズを確認して取り入れていく 活動内容の幅を広げていく
3	事業所の職員が共感的に支援をしている	利用者や保護者とのコミュニケーションをしっかりと 取って支援に反映している	各職員と利用者及び保護者との信頼関係を 大切にするとともに専門的な療育が提供できるように 環境設定を行なっていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援に対して説明不足の恐れ	情報提供の機会(カンファレンス、送迎時の保護者 対応)はあるが、個別支援計画書の説明が不足して いたこと	個別支援計画書の説明を児発管から実施すると ともに送迎時に他職員からも説明できるように 内容の周知を行なっていく
2	各マニュアルの策定状況の周知不足の恐れ	契約時の説明が不十分な可能性があり、 保護者の認識が弱くなっていること	今後、契約の際には各マニュアルの策定状況を 説明し、安心して利用できる施設と認識して頂く
3	避難訓練の実施状況の周知不足の恐れ	避難訓練を実施していることを各保護者に 伝達していないこと	今後、通信への掲載を行ない、 各保護者への認識を高めていく